

ETERNUS VT600の装置仕様				
モデル	Model 50 S7		Model 300 S7	Model 700 S7
キャビネット数			1	2
仮想ドライブ	ドライブタイプ		F6473K(36トラックテープドライブ)エミュレーション	
仮想ボリューム	ドライブ数		32, 48, 64	64~256
テープボリュームキャシュ	サポート数		最大3,000	最大500,000
ホストインターフェース	キャッシュ容量(非圧縮時)		622GB/1,044GB	820GB~3,280GB
	ドライブインターフェースタイプ		CTS(コンソールテープ接続機構)*1、OSIV/XSP動作機構FCLINK**、PTC(プリンタテープ接続機構)*1	800GB~16,0TB
	ドライブバス数		4	4~8
搭載物理ドライブ	ロボットインターフェースタイプ		LAN(TCP/IP)	
	サポート物理ドライブ**		LTO Ultrium7、LTO Ultrium8ドライブ**	
	サポート物理ドライブ数		2	2, 4
	電源ケーブル接続数		31	65, 104
外形寸法(W×D×H)	搭載ドライブ数		1	1
	テープドライブ数		1	1
最大質量	747 × 1,066 × 1,800mm(1,800mmキャビネット搭載時)		1,484 × 1,066 × 1,980mm	
	428kg(1,800mmキャビネット搭載時)		477kg(1,800mmキャビネット搭載時)	
電源仕様	電圧		AC200~240V	
	相数		単相	
最大消費電力(最大実相電力)	周波数		50Hz, 60Hz	
	電圧制断		SCC	
最大発熱量	2,872W(3,886VA)		3,328W(4,503VA)	
	10,340kJ/h		9,268W(12,540VA)	
電源コンセント	必要コンセント数		8	
	コンセント形状		ロック式2ピンアース付(NEMA L6-30)	
周囲環境条件	温度		10~32℃(動作時)、0~50℃(非動作時)	
	湿度		20~80%RH(動作時)、8~80%RH(非動作時)	

*1: コンソールテープ接続機構、GS21 2400/2600/3400/3600にのみ直接接続が可能
*2: OSIV/XSP動作機構FCLINKは、PRIMEQUEST2000/3000シリーズのOSIV/XSP動作機構キットと直接接続が可能
*3: FCLINK-8はGS21 2400/2600/3400/3600とETERNUS FCLINKスイッチ経由または直接接続が可能
*4: WORMタイプ、LTO7 typeMのLTO Ultriumカードリッジテープは使用不可
*5: 暗号化機能は未サポート
*6: 接続テープドライブ数は最大2台まで
*7: PTC-LWL、PTC-SWL、LTO2タイプ、GS21 4600にのみ直接接続が可能
*8: GS21 4600とETERNUS FCLINKスイッチ経由または直接接続が可能

ETERNUS LT140[VT600接続時]の装置仕様				
収納容量**2			132, 172, 212, 252, 292, 332, 372, 412, 452, 492	
バックアップ容量**	LTO Ultrium8 カードリッジテープ(非圧縮時)		1,584~5,904TB	
キャビネット数	LTO Ultrium7 カードリッジテープ(非圧縮時)		292~2,952TB	
搭載コンポーネント**1	ロボット数		1	
	メールスロット数		20	
	テープドライブ数**		4~16	
テープドライブ仕様	LTO Ultrium8		300MB/秒(非圧縮時)	
	ハーフハイトテープドライブ		12, 0TB/巻(非圧縮時)	
	LTO Ultrium7		300MB/秒(非圧縮時)	
	ハーフハイトテープドライブ		6, 0TB/巻(非圧縮時)	
ホストインターフェース			ファイバ/チャネル	
外形寸法(W×D×H)			747 × 1,066 × 1,980mm	
最大質量**3			450kg	
電源仕様	電圧		AC200~240V	
	相数		単相	
最大消費電力**1	周波数		50Hz, 60Hz	
			1,200W(1,624VA)	
最大発熱量**1			4,320kJ/h	
電源コンセント**4	必要コンセント数		2	
	コンセント形状		ロック式2ピンアース付(NEMA L6-30)	
周囲環境条件	温度		10~35℃(動作時)、0~50℃(輸送時、扉体無し)	
	湿度		20~80%RH(動作時)、20~80%RH(輸送時、扉体無し)	

*1: キャビネット1台の値
*2: ユーザー使用可能容量
*3: VT600に接続可能なテープドライブは最大16台
*4: WORMタイプ、LTO7 typeMのLTO Ultriumカードリッジテープは使用不可
*5: カードリッジテープの質量を除く最大構成時の値
*6: VT600から電源制御する場合

OS/ソフトウェア	
サポートOS	OSIV/MSP OSIV/XSP AFII V10L10(基本制御プログラム) VTAM-G(通信プログラム) VTCP V10L10(バーチャルテープコントロールプログラム) MTCP V10L10(複数テープユーティリティ) VTAM-G TISP V10L10(通信オプション)
必須ソフトウェア	

*OSIV/MSPの場合はV30L20、OSIV/XSPの場合はV30L10



グリーン製品
グローバルな環境対策に叶った
当社独自の厳しい環境評価基準
をクリア。

- 記載の会社名、製品名、名称等の固有名称は各社の商標または登録商標です。
- その他、本カタログに記載されている名称には必ずしも商標表示していません。
- このカタログに記載されている製品については、改良のために予告なしに仕様、デザイン等を変更する場合がありますのでご了承ください。

[SupportDesk]では高品質なトータルサポートを提供しています。詳細は富士通ホームページ「製品サポート」をご覧ください。 <https://www.fujitsu.com/jp/supportdesk/>

お問い合わせ先

受付時間 9:00~12:00 および 13:00~17:30(土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)
富士通コンタクトライン(総合窓口)

0120-933-200

<http://www.fujitsu.com/jp/eternus/>

Fujitsu Storage

エターナス

ETERNUS VT600

バーチャルテープ



高速にテープ業務を実行する、高信頼な Fujitsu Storage ETERNUS VT600 バーチャルテープ

バーチャルテープとは

ETERNUS VT600 バーチャルテープは、テープ運用をディスク上で仮想的に行う装置です。従来のテープ装置と同じように使用しながら、実際にはディスク上で処理を行うため、テープ業務の高速化が図れます。また、ETERNUS VT600はバックエンドのカートリッジテープへテープボリュームをまとめて書き

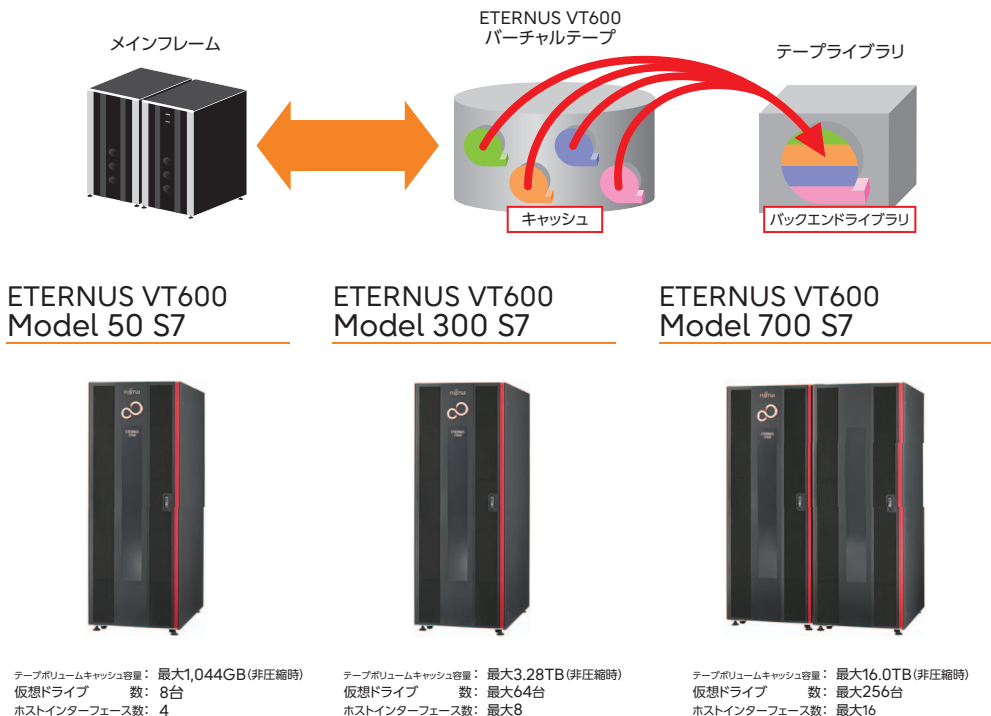
込むため、必要なカートリッジテープ本数を抑えることができます。さらに、ETERNUS VT600は主要なコンポーネントを冗長化することで、バックアップ運用を継続する高い信頼性を備えています。

構成

バーチャルテープは、ディスクでテープ運用を仮想化する装置です。ホストインターフェースとしてCTS(コンソール・テープ接続機構)*1/PTC(プリンタ・テープ接続機構)*2/OSIV/XSP動作機構FCLINK*3/FCLINK-8G*4/FCLINK-LWL、FCLINK-SWL*5をサポートし、メインフレームに接続して使用できます。ETERNUS VT600は、Fujitsu Technology Solutionsのバーチャル技術(CentricStor)を使用し、高性能を実現した階層型バーチャルテープです。データはキャッシュとバックエンドライブラリに自動的に階層化。ホストからアクセスされたデータはキャッシュに格納されると共に、バックエンドライブラリにも格納されます*6。キャッシュ部に格納されるテープボリュームキャッシュは、RAID技術で冗長化されており、万一の障害時においても業務を停止させません。バックエンドライブラリには、LTOカートリッジテープを用いたテープライブラリが接続されます。モデルラインナップは、設置性に優れたエントリーモデルのModel 50 S7、設置性に加えホストとの接続性に優れたModel 300 S7、そして拡張性に優れたModel 700 S7の3モデルを提供しています。

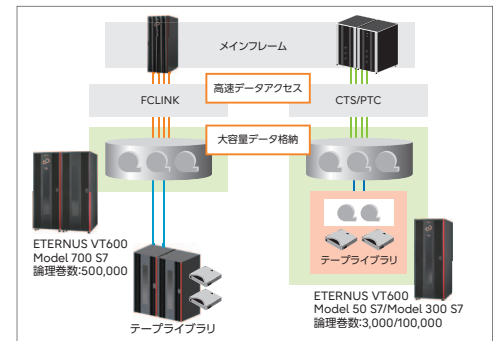
Model 50 S7、300 S7は、一つのキャビネット内にテープライブラリも搭載、全てのコンポーネントを一体化しています。Model 700 S7は、ETERNUS LT140テープライブラリと連携し、大規模なシステムに対応したモデルです。ETERNUS LT140は、ホストインターフェースとしてファイバチャネルをサポートし、最大492巻*7(バックアップ容量5,904TB*8)のデータを格納可能なテープライブラリです。また、オプション機能の暗号鍵管理オプションを使用することでカートリッジテープのデータの暗号化も可能です。

*1:Model 50 S7/300 S7のみサポート、GS21 2400/2600/3400/3600と直接接続
*2:Model 50 S7/300 S7のみサポート、PTC-LWL/PTC-SWLの2タイプ、GS21 4600と直接接続
*3:Model 50 S7/300 S7のみサポート、PRIMEQUEST 2000/3000シリーズのOSIV/XSP動作機構キートと直接接続
*4:Model 700 S7のみサポート、GS21 2400/2600/3400/3600とETERNUS FCLINKスイッチ経由または直接接続が可能
*5:Model 700 S7のみサポート、GS21 4600とETERNUS FCLINKスイッチ経由または直接接続が可能
*6:キャッシュ容量より多いデータの格納が必要な場合は、バックエンドライブラリの方にデータが格納されます。
*7:VT600接続時
*8:非圧縮時



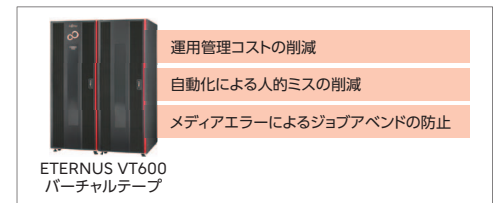
高速化と大容量データ保存

ETERNUS VT600はデータを高速に処理します。特にModel 700 S7では、ホストFCLINK-8GとFCLINK-LWLまたはFCLINK-SWLで接続され、データの読み書きをディスク上で行います。そのディスクであるテープボリュームキャッシュは、大容量なデータを保存することが可能で、Model 50 S7ではテープボリュームが3,000巻、Model 300 S7では100,000巻、Model 700 S7では500,000巻のボリュームを保存することができます。



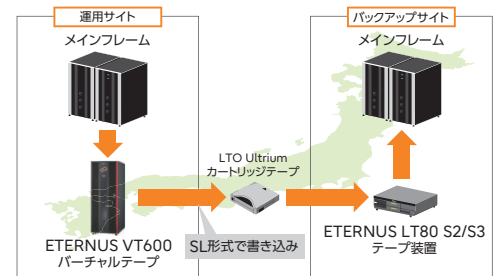
テープ運用の効率化と信頼性の向上

ETERNUS VT600がテープ運用を自動管理します。これにより、テープ保管や運用管理に係わるTCO削減を実現するとともに、人的なマウントミスも無くなります。また、ETERNUS VT600内のテープボリュームをETERNUS LT140の二つの異なる大容量カートリッジテープに自動作成する機能を使用することで、万一のメディアエラーにおいても他方のカートリッジテープからの読み取りが自動的に実行され、業務継続が可能です。



バックアップセンター構築コストの削減

ETERNUS VT600では、Native Export/Import機能により、テープ装置ETERNUS LT80 S2/S3などと互換のあるSL形式で、カートリッジテープへの書き出しが可能です。運用サイトに設置されたETERNUS VT600からカートリッジテープに書き出したデータを、テープ装置でリストアできるため、安価なテープ装置を利用した災害対策システムの構築が可能です。



ホストからの状況監視と運用管理

ETERNUS VT600を制御する(VTCP)サブシステムが状況監視を行うことで、ETERNUS VT600の不具合をホストコンソール側で検出することができます。マウント要求のタイムアウト、通信応答、リコール時間なども監視します。また、早期異常検出を実施するために監視間隔も任意に設定できます。ETERNUS VT600は専用の運用管理サーバが含まれており、これにより、状態をタイムリーに監視し、エラーメッセージの表示やテープボリュームの操作など運用性にも優れています。

